

北神急行線一体的運行後の収支見通し

(単位：百万円)

	令和2年度 (初年度6月～)	期間平均				令和41年度 (40年目)
		令和3～10年度 (2～9年目)	令和11～20年度 (10～19年目)	令和21～30年度 (20～29年目)	令和31～40年度 (30～39年目)	
収入合計	1,626	1,919	1,825	1,745	1,688	1,664
営業収益	1,286	1,520	1,516	1,465	1,415	1,392
営業外収益	340	399	309	280	273	272
費用合計	1,566	2,344	1,764	1,706	1,462	1,340
人件費・経費	934	897	876	888	887	891
減価償却費	630	1,325	780	745	541	423
支払利息	2	122	108	73	34	26
純損益	60	△425	61	39	226	324
累積損益	60	△3,339	△2,728	△2,339	△76	248
企業債残高	18,931	23,806	16,389	9,825	4,875	4,574

※累積損益・企業債残高については、各期間における最終年度の額

乗車人員/日 (H30:24,500人)	33,400人	32,900人	32,800人	31,600人	30,500人	29,900人
--------------------------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

(前提条件)

- ・乗車人員については、現状の24,500人/日から、運賃低減による効果により約9,000人/日が移行、その後、一定の減少を見込む。
- ・経費については、北神急行電鉄における過去10ヵ年の平均で計上
- ・減価償却費については、譲渡譲受資産は定額法、新たに取得する資産は定率法により計上

(まとめ)

- ・運行開始当初は、非現金支出である減価償却費を多額に計上することから赤字となるが、約10年を経過した後は、減価償却費の低減により黒字基調で推移
- ・上記の期間を通じて、累積資金収支は黒字を継続する見通し